

令和6年度第1回安城市スポーツ推進審議会 議事録要旨

日 時	令和6年5月16日（木）午後2時～3時
場 所	東祥アリーナ安城 3階 第4会議室
出席委員	野村富雄委員、四ツ井初美委員、柴田さわ子委員、香村直廣委員、 栢山美鈴委員、香村恵介委員、太田妙子委員、外山大輔委員、近藤亜衣委員
欠席委員	桑田智委員
事務局出席者	教育長（石川）、生涯学習部長（加藤）、スポーツ課長（松元）、 スポーツ課長補佐（岩井、内藤）、スポーツ振興係専門主査（近藤）
次 第	1 市民憲章唱和 2 あいさつ 3 議題 （1）第2次スポーツ振興計画改訂版に係る令和5年度事業実績について ア 個別事業の実績について イ 目標値の達成状況について （2）第2次スポーツ振興計画改訂版に係る令和6年度事業計画（案）について 4 その他（第3次スポーツ振興計画策定について）

1 市民憲章唱和

2 あいさつ

石川教育長
野村会長

3 議題

（1）第2次スポーツ振興計画改訂版に係る令和5年度事業実績について

【事務局説明】資料P2～45

【質疑応答】

（委員）

3x3バスケットコートが新しくでき、稼働状況はどうか。

（事務局）

朝から利用されている人もいるが、特に休日は利用者が多い。

（委員）

トラブルはあるか。

(事務局)

取り立てて大きなトラブルはない。

(委員)

利用する場合は、許可制なのか。

(事務局)

メインコートは、夏場は9時から19時まで、冬場は9時から17時までの利用としている。サブコートは自由な利用としている。メインコートを含めて、予約の必要はなく、空いてれば自由に使える公園の遊具のような利用としている。1つの団体が長時間利用しないよう入口には混雑時は1時間程度で交代という掲示をしている。

(委員)

ボールの貸出しはありますか。

(事務局)

3月末にシーホース三河様から寄付をいただいたので、東祥アリーナ安城の窓口にてボールの貸し出しをしている。

(委員)

P4「重点施策1 ラジオ体操の普及啓発」のプランにおいて、啓発活動を実施すると記載があるが、どこを対象の範囲としているのか。

(事務局)

ラジオ体操はスポーツをはじめるきっかけづくりとして手軽にできるものであり、対象は主に年少から高齢者としている。事業としては、ラジオ体操実技講習会は広報で周知し、市民を対象としている。ラジオ体操講師派遣授業は小学校向けに実施している等、事業により対象を変更している。

(委員)

「おはよう！ふれあいラジオ体操会」は延べ人数が大幅に増えているが、実人数は把握しているか。また、どの年代が参加されているか。

(事務局)

実人数の把握はできていない。参加団体では子ども会が多いので、子供とその保護者が多いと思われる。

(委員)

町内会が主だと思われるので、実人数を把握したいという意向を伝えれば、調査できると思う。実人数や年代を把握することにより、どの年代まで到達しているのか、確認することができると思う。取り組んだ行政区は把握しているか。

(事務局)

行政区を町内会単位とすると、81あります。そのうち、半数が取り組んでいる。

(委員)

目標は全部なのか。

(事務局)

全ての町内会単位で実施ができれば、より普及できると考えている。

(委員)

ラジオ体操を実施しなかった団体にはその理由を調査しているか。

(事務局)

理由までは確認していない。

(委員)

実施していない団体には実施するようアプローチしても良いと思う。

(委員)

部活動の地域移行について昨年度からバスケットボール協会等と連携組織を立ち上げて、協議を進めた。その結果、今年度からリーグ戦を設立して、クラブ向けのリーグを開催している。安城市の地域移行の取り組みをアピールすると、全国的に先駆けた活動という点と、安城市に住んでいてもそのような活動を知らない子供たちも多いので、広報していきたいと考えている。バスケットボールだけではなく、運動競技以外の文化部の活動にも広がればよいと考えている。7月には支所予選があり、土日連続で大会が開催される。そのような大会はスポーツ庁の部活動のガイドラインに反していると思うが、どのような経緯で決められたのか。

(委員)

夏の中学生の大会は8月の後半にある全国中学校体育大会まで続く大会であり、スケジュールを考えると、7月上中旬には支所予選を終える必要がある。2日続けて大会を行う場合、熱中症予防のために午前中に終えるようにしている競技（野球等）や、午前と午後の遅めの時間に開催する競技（サッカー等）がある。それぞれの競技部の部会で検討し、日程等のスケジュールを決定している。

(委員)

土日連続、日曜日の活動を縮小する取り組みの中で、支所予選のスケジュールについては市役所の中で連携してほしい。また、部活動の地域移行については今後、部活動が主体なのか、部活動を縮小して地域団体を主体とするのか、安城市としてのビジョンを決めていただきたい。

(事務局)

地域移行を進めていきたいが、学習指導要領の中に、「部活動」が示されていく以上は学校の教育活動として位置付けられる。約8年後には改訂がある予定だが、新しい学習指導要領のなかで、「部活動」が抜けると学校がやるべきものではなくなる。そうになると、教員が部活動に携わらなくなるので、その時点で地域化していないと子供たちが困ってしまう。しかし、改定内容を文部科学省に質問してもはっきりとした回答がないので、決め切れていないでいる。子供たちが困らないように地域化することを想定して早めに動き出しているのが現状である。他市町は部活動が残ると想定して動いている。安城市では、来年度には土日を半減させ、8年度には休日を完全に地域移行させる予定である。その後は文科省次第であるが、部活動の全国大会開催の見通しも立っておらず、不透明な部分が多い。

(委員)

難しいことは承知したが、その中でも安城市はやれるところから進めていると思っている。バスケットボールは他の競技に比べて、進んでいると思う。そのなかで他競技が追い付いてこないからバスケットボールの地域移行が遅れてしまうことは防ぎたい。部活動には入部せず、クラブ活動のみ所属している子もいることを認識していただきたい。

(委員)

施設利用者数ですが、今後、アリーナは市の施設になるのですか。

(事務局)

アイシンから寄付を受けて、市の施設という扱いになる。しかし、アリーナの使い方についてはアイシンに委ねているのが、現状である。

(委員)

アンケート調査だが、次の調査のタイミングで元の質問に戻す予定はあるか。ベースラインと同じ調査にした方が、分析しやすいと思う。

(事務局)

国や県等と比較もしたいので、今回のアンケートをベースに今後も実施する予定である。

(委員)

国や県のデータと比較すると今回のスポーツ実施率はどうか。

(事務局)

現在、正確な数値は持っていないが、国や県よりも高い数値が出ていると思われる。

【全委員了承】

(2) 第2次スポーツ振興計画改定版に係る令和6年度事業計画(案)について

【事務局説明】資料P46～49

【質疑応答】

(委員)

学校の体育館にエアコンを設置するということだが、予算はないのか。

(事務局)

担当課が他部署になる。今年度は中学校の空調設備の工事設計をする予定です。来年度に工事と聞いている。

(委員)

ラジオ体操の予算について、小学生・幼児に正しい知識と動きを身につけてもらうことの重要性についてどのように認識しているか。

(事務局)

ラジオ体操は3分程で全身をまんべんなく動かすものであり、ストレッチ効果や準備運動にもなり、ケガの予防にも繋がることから、効果があるものと考えている。

(委員)

その年代は決まった動きよりも様々な動きを楽しくする方が推奨されているため、子供ではなく、高齢者等違うターゲット層に予算を使った方が良いと思う。また、パブリック

ビューイングの予算について、今年度の予算で配分する必要性はあるか。

(事務局)

令和5年度は安城学園がウィンターカップに出場し、パブリックビューイングをアンフォーレ・東祥アリーナ安城で実施している。令和6年度はパリオリンピックが開催され、安城市ゆかりの選手が日本代表として出場する可能性があり、PRをする絶好の機会であることから、予算計上をしている。不透明な部分が多いので開催日等は「未定」と記載している。

(委員)

学校の体育館の床が盛り上がっているため、転ぶと怪我につながるのでそこに予算を充てていただきたい。例えば、安城西中学校等。また、二本木小学校は床が滑ってあぶないので、改善していただきたい。

(事務局)

資料の補足だが、近代五種競技の会場について、東祥アリーナ安城と記載があるが、市陸上競技場とスポーツセンターが予定地となるので、訂正をお願いしたい。

【全委員了承】

(3) 第3次スポーツ振興計画策定について

【事務局説明】資料P50～51

【質疑応答】

質疑なし。

(4) その他（全体に対する意見等）

(委員)

アイシンのアリーナの活用方法について、内容等は新しい計画に関わってくるのか。

(事務局)

アリーナを活用した事業を計画の中で前面に出す予定はない。

以上